

令和7年度第1回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和7年5月23日（金） 14時30分～15時30分
開催場所	川越駅西口 U_PLACE 3階 会議室
出席委員	高橋会長、大西委員、氣仙委員、後藤委員、大野一美委員、大畠委員、山田委員、野沢委員、長谷部委員、岡村委員、峯岸委員、栗林委員、飛松委員、柳井委員
事務局	福祉部障害者福祉課 岡安課長、木村副課長、小沼副主幹、田中主査、細村主任、小野寺主任 こども未来部療育支援課 川上課長
欠席委員	増田副会長、大塚委員、加藤委員、大野操委員、樫村委員
傍聴人	0名
議題	障害福祉に関するアンケート調査について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 川越市障害者施策審議会委員名簿 ・ 資料1 障害福祉に関するアンケート調査について ・ 資料2 調査票 I～IV ・ 資料3 川越市障害福祉に関するアンケート（イメージ）
審議結果概要	<p>障害福祉に関するアンケート調査については、今回委員から出された以下の主な意見を踏まえ、次回の審議会で調査票案をお示しする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2 調査票 I 「14 市の取り組み等について」選択肢に経済的な援助をいれてほしい。特に医療費の負担がある。 ・ 設問3 1で「1家で過ごしている」を選択した方に家庭での過ごし方や困ることはないかを聞けるとよい。 ・ 「医療的ケア」が何か分かるように例示があるとよい。 ・ 「普段はどなたと一緒に外出していますか」の選択肢にあるヘルパーについては、誤解がないように定義を示した方がよい。 ・ 設問3 2 特別支援学校の場合、選択肢にある「障害のあるなしに関わらず一緒にクラスで過ごしたい」という状況は当てはまらないように感じるので、再度検討してほしい。

	<ul style="list-style-type: none">・設問 3 1 や設問 4 2 は、日中いる場所は家や入所施設でも、日中何をしているのか。そこが見えてくるような設問にしてほしい。・今後の希望の設問で、「近い将来、日中を主にどのように過ごしたいですか。」の選択肢がどこで・どのようにが混在している。難しいと思うが、何をして、どうやって過ごしたいかが分かるような工夫ができないか。「家で過ごしたい」と回答した方にはその理由を問う設問を追加できないか。・地域共生社会がどのくらい進んでいるのかを測ることができるような設問が入れられるとよい。・調査票Ⅲ設問 8 や設問 1 0 の選択肢に学校の教職員をいれてほしい。
--	---

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
会長	【会長挨拶】
事務局	【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】※傍聴者なし
事務局	【議題 障害福祉に関するアンケート調査について】 資料1～3に基づき説明
会長	議題について事務局より説明をいただいた。質問等あるか。
委員	資料2調査票I「14 市の取り組み等について」で伺いたい。 今回の選択肢に経済的な援助が入っていない。 前回アンケートで一番要望が多かった選択肢なので、今回も入れた方がよい。 自立支援医療の適用で精神科通院の医療費が1割負担になるが、他科や入院は3割負担になるので、医療費の援助により経済的な負担が軽減される。
事務局	選択肢を見直し、修正する。
委員	資料2調査票I「6 日中の過ごし方について」で伺いたい。 設問31の選択肢「2 収入を伴う仕事をしている」又は「6 幼稚園や保育所、学校に通っている」を選んだ方のみ、そのあとの設問で困っていること等の詳細を聞く形になっている。 設問31には、2、6以外にも家や事業所などの選択肢がある。 日中家で過ごしている方なども、支援につながりにくい等の困っていることがある可能性がある。 2と6以外にも詳細を聞く設問を設定した方がいいのではないか。
事務局	障害者の教育や雇用については、市として特に把握したい情報であるので、詳細を聞く設問を設定した。 設問については、検討して案をお示しする。
委員	資料2障害者週間の集いについての設問をいれていただいた。 このアンケートが障害者週間の集いを知っていただける機会になればいい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
委員	<p>資料2 調査票Ⅰ「4 健康状態や医療について」伺いたい。</p> <p>設問20に「現在、医療的ケアを受けていますか」とあるが、例示があったほうがよい。</p> <p>また、設問25「普段はどなたと一緒に外出していますか」の選択肢にヘルパーや施設の職員がある。</p> <p>このヘルパーの定義は資格を持った方なのか、同行支援や行動援助の方や施設の職員なのか、わかるようにした方がよい。</p> <p>設問32「通っている学校等でどうやって過ごしたいですか」とあるが、特別支援学校の場合、選択肢にある「障害のあるなしに関わらず一緒にクラスで過ごしたい」という状況は当てはまらないように感じるので、再度検討してほしい。</p> <p>調査票Ⅳ設問15で「あなたは障害のある人にどのようなイメージをお持ちですか」という自由記述の設問がある。</p> <p>回答としてネガティブな意見が出てくることも考えられるが、どのような意図でこの設問を入れたのか伺いたい。</p>
事務局	<p>設問20の医療的ケアについては調査票の中に具体的な例示を入れさせていただく。</p> <p>設問25のヘルパー言葉の定義については、誤解を生まないような形で設問を設計する。</p> <p>設問32について、特別支援学校の方は調査表Ⅲをお送りする。調査票Ⅰは川越市援護で特別支援学校に通っている方を除外して送付予定である。</p> <p>調査票Ⅳ設問15について、委員のご意見を踏まえたということが理由としてある。また、市としても障害のない方が障害者にどのようなイメージを持っているのか把握したいという意図がある。市民の方のもつイメージを把握することで、今後どのような政策を打っていくかの検討材料としたい。</p> <p>また、回答を選択式にするとバイアスがかかってしまうと考えたため、記述式にした。</p>
委員	<p>資料1の調査対象等について伺いたい。</p> <p>資料には身体障害者、知的障害者、精神障害者と書いてあるが、生徒は対象になっていないという理解でよいか。</p> <p>調査対象として抽出した中に、生徒が含まれた場合には対象外とするということか。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	<p>本調査は18歳以上の者だけを想定したものではない。</p> <p>特別支援学校に通っている方は、特別支援学校向けの調査票を設けているので、ほかの調査票の対象からは除外する形を考えている。</p> <p>今回の調査では、0歳から18歳、18歳から64歳、65歳以上という3つの年齢区分に分けて、層化抽出を行うことを検討している。</p>
委員	<p>資料2「6 日中どのように過ごしていますか」と「9 今後の希望について」伺いたい。</p> <p>設問31や設問42では、日中どのように過ごしたいかという設問だが、選択肢に家や入所施設、病院等の選択肢がある。</p> <p>日中いる場所は家や入所施設でも、日中「何をしているのか」が見えてくるような設問にできないか。</p>
事務局	<p>どこで過ごしているか、その上でそこでは何をしているのかが分かるような設問を検討したい。</p>
会長	<p>設問のワーディングや設問の順序を入れ替えることなどが対応として考えられる。日中の過ごす場所について尋ねた後に、日中何をしていますかというように概念を切り分ければよいのではないか。</p>
委員	<p>資料1の調査対象について伺いたい。</p> <p>障害のない市民の抽出数800とあるが、対象の年齢はどのようになっているのか。</p> <p>また、資料2調査票I設問45で「悩みや困ったことをどこに相談しますか」という設問があるが、前回の調査書では、選択肢に「友人・知人・近所の人」とあったが、今回の選択肢に近所の人が入っていない。</p> <p>地域共生社会や地域福祉の中で、近隣住民との関係は重要な部分なので入れたほうがよいのではないか。</p> <p>最後に、特別支援学校や障害のない市民に対する調査についての提案だが、障害者の方を含めて一緒に地域を作っているという意識がわかるような設問が1つあってもいいのではないか。</p>
委員	<p>最後の提案は、地域共生社会がどのくらい進んでいるのかモニターしたいという意図であると考える。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	地域共生社会がどのような社会なのか、地域共生社会を目指すにあたり現在どのような取組ができているのか具体例を出すような設問を作ると、モニターできるのではないか。
事務局	資料1の障害のない市民の年齢層について、年齢は18歳以上で考えている。 資料2調査票Ⅰ設問45の近所の人については、知人の中に近所の人も含めるという考えで、統合している。 最後の提案については、検討する。地域共生社会がどういうものか説明するような設問にして、アンケートに合わせて周知を図るような設問が考えられる。
委員	地域共生社会のイメージとして、川越の街の中で障害のある方が働いているあるいは文化を共有している、そのような状態が思い浮かぶ。 設問には具体的にどのような状態が地域共生社会なのかがわかるような文章になればよい。
会長	法の条文も踏まえた上で設問を検討する必要がある。
委員	資料2調査票Ⅲについて伺いたい。 設問8の悩みや困ったときの相談先について、本校は卒業生をアフターケアとして3年ほど追っており、卒業後も一定期間だが相談を受け付けているので、選択肢に学校の教職員をいれていただきたい。 また、設問10についても、本校にはコーディネーター特別支援教育コーディネーターという役職者が2名いる。 福祉サービスについての情報を持っており、在校生等の相談にのっているため、選択肢に学校の教職員をいれていただきたい。
事務局	いただいたご意見を反映する。
委員	障害のない市民の方向けのアンケートが今回から始まるということで、いろいろな考えを聞くことができると期待している。
委員	アンケート設問全体について伺いたい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	各設問のところにその他という選択肢があるが、その他の内訳は具体的に回答していただくのか。
事務局	その他の内訳は回答いただけるようにした上で、回答がなくても提出を受け付けるように考えている。
会長	【その他】 その他、委員からの報告事項はあるか。
	特になし
会長	事務局から何かあるか。
事務局	・次回会議の日程について 次回の会議は令和7年7月下旬から8月上旬開催予定。 会場含め、正式な案内は追って通知する。
会長	委員から質問等はあるか。
委員	特になし
事務局	【閉会】 以上で、令和7年度第1回障害者施策審議会を終了する。
	以上